

鹿児島県知事あいさつ  
会長あいさつ  
第11回 食と健康に関するシンポジウム  
私と工業倶楽部  
新たなビジネスチャンスを広げる「逆ラボツアー」  
新会員紹介



DX



## 虎嘯風生

【虎嘯風生】こしょうふうしょう  
すぐれた才能や技能をもつ人が機会を得て奮起すること。  
(工業倶楽部がその一端を担えると光榮です)

## 知事あいさつ

岩元正孝会長をはじめ、会員の皆様には、日頃から本県の産業の振興や雇用の創出、知的財産権の活用等に御貢献をいただきますとともに、県政の推進に御支援・御協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、今年に入り、新たな変異株(オミクロン株)の影響により再び全国的に感染が急拡大する中、本県においても、感染者が急増しております。このため、先月8日、爆発的に感染が拡大していた奄美大島に本県独自の緊急事態宣言を発令し、同地域の飲食店に営業時間の短縮を要請するとともに、19日には、更なる拡大を踏まえ、県内全域に爆発的感染拡大警報を発令し、感染拡大が特に顕著な鹿児島市、霧島市及び鹿屋市の飲食店に営業時間の短縮(第三者認証店は通常営業も可)を要請しました。

さらに、24日には、国にまん延防止等重点措置の適用を要請し、27日から今月20日まで25日間の同措置の適用が決定されました。この決定を受け、県内全域に対する爆発的感染拡大警報を継続しつつ、県内全域の飲食店に営業時間の短縮を要請しました。

皆様におかれましては、引き続き、マスクの着用、手洗いやうがいの励行、こまめな換気など、基本的な感染防止対策の徹底に努めていただきますよう、お願い申し上げます。

一方、明るい話題として、奄美大島及び徳之島の世界自然遺産登録や出水のツル越冬地のラムサール条約湿地登録、霧島神宮の国宝指定の答申等がありました。

また、今年は、5年に一度の全国和牛能力共進会が10月に本県で開催されます。前回大会では、鹿児島黒牛が悲願の和牛日本一に輝きました。鹿児島大会においても、全国一の和牛生産県として連覇を目指してまいります。また、大会期間中、全国から来県される多くの方々をおもてなしの心でお迎えし、鹿児島の食、文化、観光等の魅力を全国に向けて積極的に発信してまいりたいと考えております。

現在、我が国は、ウィズコロナという新たな局面を迎えており、今後は、時代の潮流にも強克的確に対応できる社会、安心・安全で持続可能な地域社会を構築していく必要があります。

新型コロナウイルスの収束後を見据え、今後の県勢発展の基盤をしっかりと作っていくためには、基幹産業である農林水産業及び観光関連産業の更なる振興を図りつつ、中小企業等の競争力の強化や将来を担う新たな産業の創出、起業の支援等に取り組む必要があると考えております。

中でも、中小企業の競争力の強化等に向けては、従業者一人当たりの付加価値額(労働生産性)の向上を図るため、産学官連携による技術・製品の研究開発や、販路開拓等の取組を支援しているほか、デジタル化やカーボンニュートラルの取組を促進しているところです。

また、県庁最上階に、鹿児島のシンボルである桜島と風光明媚な錦江湾を一望できるコワーキングスペース「かごゆいテラス」を本年4月にオープンする予定です。この施設を拠点として、社会課題の解決に向けた新事業の創出や、異業種・海外とのコミュニティの形成を通じたスタートアップの創出・育成によるイノベーションを支援することとしております。

今後とも、皆様の御意見を伺いながら、製造業の更なる振興をはじめとする鹿児島の「稼ぐ力」の向上を図ってまいりますので、御支援・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

終わりに、公益社団法人鹿児島県工業倶楽部の今後ますますの御発展と、皆様の御健勝・御活躍を祈念申し上げます。挨拶といたします。



鹿児島県知事 塩田 康一

## 受賞おめでとうございます!

会員企業の協業組合ユニカラー様、マトヤ技研工業(株)様、薩摩酒造(株)様、インターマン(株)様が、栄誉ある賞を受賞されました。謹んでお祝い申し上げます。

## 会長あいさつ

会員の皆様はお健やかに新年をお迎えのことと思います。毎年、新春を迎えおめでたいはずですが、この3年間は新型コロナによりめでたさも幾分減ってしまいました。業種によっては大変な影響が出ていると思います。

塩田新知事になって1年が経過しました。産業界に携わる者として知事の掲げるスローガンの「稼ぐ力」の一助になりたいと考えています。

ディストラクト（崩壊）という言葉があります。疫病により社会が崩壊することが考えられますし、格差の拡大により社会が崩壊することもあるでしょうが、経済同友会が出した崩壊はデジタルへの対応です。スイスのビジネススクール IMD の調査によりますと世界の経営者の「90%が影響が大きい」、「3%が影響なし」に対し、日本は「影響が大きい16%」、「影響がない21.4%」と認識に大きな隔たりがあります。

問題はデジタル化やデジタイゼーションをすればすむということではなく、モデルをどう変換するのかになってきます。

さて今回の covid19 は社会の変化を加速させました。これまでの集積・高密度化が分散型価値創造・リモートへと変わりました。グローバル化・バリューチェーンにも多大な影響が出てきます。社会の大きな転換点だと思っています。

この変化は covid19 が収束しても元には戻らないと思います。下駄を履いて歩いていたのが靴を履いて歩かないといけなくなりました。下駄でも歩けると思っていると比較にならないスピードで取り残されていきます。

過去の常識ややり方が通用しない新時代にあたり新しいアクセルを踏みましょ。皆様に幸多からんことを祈念してごあいさつといたします。



公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部  
会長 岩元正孝



DXセミナー開催

## SDGsへの取組

ムラサキウニ染めのスカーフで海の生態を守る。

(有)尾塚水産にローマ法王から感謝状が届きました!

嬉しいニュースが入りました!(有)尾塚水産さんが、ローマ法王に、駆除したムラサキウニの棘を使って染めたロイヤルパープルのスカーフを送ったところ、そのSDGsの取組に対して、法王から感謝状が届きました。

今回、このプロジェクトを支えたのは、(株)クラインベストの協野代表。手紙の翻訳及び販売展開などサポートを行いました。

近年、海水温が上昇し、九州地方でウニが増えすぎ、北上してきたウニが藻場を食いつくすことで、海底が砂漠化する「磯焼け」という現象が起きています。この現象を防ぐため、各地でウニの除去に取り組んでいます。

そのような中、尾塚水産は、ムラサキウニを加工中に手が紫色に染まる経験から、クエン酸を用いて簡単にムラサキウニの色素を抽出し、絹布などを染色するオープン特許に注目し、高貴な色とされるロイヤルパープルのスカーフを制作しました。

海の生態系を守るうえで厄介者のムラサキウニの棘を活用して制作したファッションナブルなスカーフはSDGsの観点からも大きな話題を集めました。今回、1月に行われたスマート物流EXPOにて、SDGs「海の豊かさを守ろう」に配慮した展示企業のユニフォームとして使われるなど、今後の展開にも注目です。

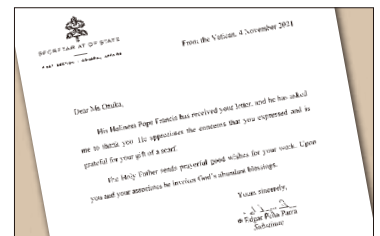
(有)尾塚水産 <https://www.ozuka.co.jp/>



尾塚社長(左)と手紙を翻訳した協野代表(右)



ムラサキウニの棘で染めたスカーフ



ローマ法王からの感謝状

- 令和3年度環境保全活動優秀団体賞/協業組合 ユニカラー
- 令和3年度九州地方発明表彰九州オープンイノベーションセンター会長賞/益留福一氏(マトヤ技研工業(株))
- 令和3年度九州地方発明表彰鹿児島県発明協会会長賞/本坊愛一郎氏他6名(薩摩酒造(株))
- 鹿児島県漁業振興大会第55回水産物品評会鹿児島県知事賞/インターマン(株)

# 第11回「食と健康に関するシンポジウム」 鹿児島発！新技術で支える「健康と食」

～工業倶楽部会員企業によるポスターセッションも行われました～

2019年末から、世界中に感染拡大した新型コロナウイルス。当初は未知のウイルスによる感染症に、有効性が確認できた治療薬がありませんでした。現在、新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、ワクチンなどの新薬開発は、過去に例を見ないほどのスピードで開発が進められています。

今回、鹿児島大学と共催で開催した「食と健康に関するシンポジウム」では、前半、コロナウイルスの切り札である「抗新型コロナウイルス薬」開発の現状について、国内外の医薬品開発をリードする(株)新日本科学の永田代表取締役会長兼社長と、鹿児島大学の池田教授から、レプリコンを使った治療薬開発など非常に興味深く、示唆に富む発表が行われました。

後半は、「畜産を持続可能な成長ビジネスにする技術革新」をテーマに、(株)Eco-Porkの神林代表取締役からは「ICT/IoTによるDX化で豚の生産状況を把握できるIT技術の提供」について、次のマトヤ技研工業(株)益留代表取締役会長からは「画期的な食肉生産システムの開発」について、続く鹿児島大学の後藤教授からは「放牧での新たな黒毛和牛の生産システム」など、今後の畜産業に大きなインパクトを与えるスマート化への取組が発表されました。

さらに、5名の講師による講演後、鹿児島大学産学・地域共創センターの高橋センター長の進行でパネルディスカッションを行い、オンラインを含め244名が参加しました。

さらにまた、工業倶楽部会員企業4社によるポスターセッションも行われました。ポスターセッションでは、鹿児島県を中心に全国で深刻な被害をもたらしているサツマイモ基腐病に対する防除対策のひとつである「サツマイモ基腐病に対する蒸熱処理を用いた種イモの腐敗抑制技術」について(株)サナス・三州産業(株)・三和物産(株)から発表、コロナウイルスを1分間で99.9%死滅させる「MedCu社製酸化銅不織布」についてインターマン(株)から発表、「稲妻の発生を止める!カミナリ君:集電子装置(EC)」について大協(株)から発表、「里山再生・SDGsに取り組む 薩摩竹紙コップ」について協業組合ユニカラーから発表があり、マスコミの取材も含め、盛況のうちに終了しました。

工業倶楽部では、今後も鹿児島大学と共に、全世代の人々が健康かつ幸福に過ごす社会実現のために取り組むべき課題や研究について、同シンポジウムを通じて提案してまいります。



パネルディスカッション



岩元会長あいさつ



佐野学長あいさつ



会員企業のポスターセッション



(株)新日本科学/永田社長



鹿児島大学/池田教授



(株)Eco-Pork/神林代表



マトヤ技研工業(株)/  
益留会長



鹿児島大学/後藤教授

# 私と工業倶楽部

みなぎる好奇心が今を創り、その経験を通して、新しいコトへ挑む日々！  
鹿児島への想いや、工業倶楽部で出会い協力してくださった人々への感謝の気持ちなど、  
文字に表現できない程お話しいただきました。一層の飛躍・ご繁栄を祈念します。



仕事に合わせて席を自由に選べるフリーアドレス



会議・セミナー用途に合わせたビジネス空間創り

## ●おかげさまで創業100周年

三代目として家業を引き継ぎ、2019年（令和元年）6月、当社は創業100周年を迎えました。

久永度量衡店として、1919年（大正8年）6月、「はかる」を原点に竹ものさしから事業を興し、時代の波を乗り越え、現在では(株)久永を柱にコンサルタント、情報マネジメント、などグループ5社で、広く顧客のニーズに対応したビジネスを創造するパートナー企業を目指しています。

## ●「誰一人取り残さない」持続可能な未来の社会の実現のために。

～SDGs 久永にできること～

当社ではSDGsに基づいた事業経営に取り組み始めました。

1. 多様な人材が創造性を発揮し活躍できる環境づくり
2. 個人の健康と家族の幸せの環境づくり
3. 「もったいない！」意識の徹底と環境配慮型社会づくり
4. 安全・安心・快適なまちづくり・空間づくり
5. イノベーションによる企業と地域の発展・新しい市場づくり

この5つの目標を社員全員で共有し、当社の事業活動、社員の働き方、環境意識を通して、地域社会に貢献できるというモチベーションの醸成をはかりたいと考えています。現在、時代の変化を先取りしたソリューションの提供に努めるべく全社一丸となって挑戦しています。新しいことを創造する意欲と姿勢で、「働き方改革」「生産性向上」「環境配慮」に繋がる「こと」「もの」の見える化の改革が積極的に行われています。特に「環境配慮」の取



株式会社 久永  
代表取締役社長 久永 修平

〒891-0115鹿児島県鹿児島市東開町5-11  
TEL:099-210-0555 FAX:099-210-0501  
<https://kk-hisanaga.com/>

組として久永情報マネジメント本社ビルと久永宮崎支店を鹿児島初、宮崎2番目のZEB（ゼロエネルギービル）として昨年、竣工しました。

その結果、お客様企業からも評価を頂き「ビジネス空間・DXの改革」「測量・建設現場の改革」など様々なソリューションの受注が生まれてきています。我々自身が心豊かな社員と会社を創り、豊かな未来を創ることに貢献できる企業を目指します。

## ●持続可能な経営に向けて

永年在籍の84プラザを通して、また部会や委員会、講演等、役もいただいたことで、多くの経営者、企業幹部、産学官の方々にも知り合え、視野を広げられたことは、自らの財産、栄養素となっています。

今後も、自らと次の世代への事業の繁栄と継続に、工業倶楽部の一員として学ぶ姿勢を崩さず参加して参りたいと存じます。



GPS測量システム

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 新たなビジネスチャンスを広げる、「逆ラボツアー」を開催!

「SDGs 達成を目指す～新しい働き方改革の戦略づくり / (株) 久永」  
 「全国の家具を設計から製造までワンストップで実現 / (有) 道免家具店」

工業倶楽部では、会員企業の視察を通じて、新たなビジネスチャンスを広げる「逆ラボツアー」を開催しています。

今回は、会員企業の(株)久永様をはじめ2つの企業の視察を行いました。DXの導入、ウィズコロナ時代のオフィス環境の在り方、SDGsの実現の解決に参考となるラボツアーで、参加会員の皆様から、「企業理念に感銘した」、「すぐに導入したい取組」、「新たな視点を得られた」など、視察した企業の取組に大いに刺激を受けたとの感想が寄せられました。今回はその様子をご紹介します。

まず、「(株)久永」では、オフィスの「働き方改革」を実現できるニューオフィスについて、その取組、運用、効果について学ぶことができました。社員自らが考えて動き、社員同士のコミュニケーションの活性化を促進するフリーアドレスのオフィスを視察し、ニューオフィスで、自身の働き方がどう変わったかなど社員の方々の声も直接お聞きできました。

(株)久永では、業務のDXに向け、ペーパーレス化、クラウド化、電子決済を推進し、仕事の効率化・生産性向上を実現しています。これからの「あるべき働き方」を実現するために、どのようにICTツールを活用し、オフィス機能を変革したかということについて、プロジェクトスケジュールや、活用したICTツールとクラウドサービスの紹介及び各ツールが実現できること、並びにその効果まで具体的な説明がありました。参加企業からは、自社の業務をどのICTツールで解決すればよいかなどの道筋まで理解できたとの声が多くありました。DXを実現し、ICTツールの活用で、その時々に行う業務に合わせて仕事空間を選べるオフィスに変わってから、社員がより主体的に仕事に向かっているとの効果は、多くの企業にとって非常に参考になったのではと実感しました。

次の視察先の「(有)道免家具店」は、昨年完成した、県内では最大の大規模木造工場を中心に、全国各地から発注を受けたユニット家具を設計から製造までワンストップで行っている様子を視察しました。(有)道免家具店が手掛けたユニット家具は、全国の有名企業の応接室や会議室、全国の都道府県・市町村の議会庁舎など幅広く活用されています。同社は発注を受けたユニット家具を、最新のテクノロジーを活用しながら制作されていますが、その製造方法は全てSDGsの視点に立ったものであると同時に、社員の働きやすさ、作業効率の高い方法で実現しています。社員がウェルビーイングに働きながら、質の高い製品を創作できる環境が新工場で達成されていることが印象的でした。

現在、世の中は急激なスピードで変化しています、企業はその変化に対応して、事業を常に成長させていく必要があります。企業にとって最も大切な人材が、それぞれの仕事場で、その変化に前向きに対応し、変わり続けるためにはオフィスの在り方、働き方が大きく関係していると思います。両企業とも多様な視点から、働き方を考え、ビジネスの成長につなげていることに大きな示唆をもらった「逆ラボツアー」となりました。

今後の「逆ラボツアー」でも、エネルギー、環境、食料をはじめ様々なSDGs達成を目指す事業に取り組む企業を対象に開催する予定ですので、次回もぜひご参加ください。

## 株式会社 久永

<https://kk-hisanaga.com/>



(株)久永



(株)久永

## 有限会社 道免家具店

<http://www.doumenkaguten.com/>



(有)道免家具店

## 新会員紹介 コーナー

### 三州産業株式会社代表取締役 坂元 泉



令和3年3月に社長に就任しました三州産業株式会社の坂元泉と申します。

当社は昭和23年鹿児島県たばこ耕作組合が終戦後の葉たばこの生産資材不足を解消するため、自ら製造販売する事業組合として設立しました。事業内容としては、葉たばこ乾燥機や各種乾燥機、施設園芸用ハウス暖房機、農業用資材販売の他、果物を輸出する際、植物検疫に使用される蒸気熱処理装置の輸出も行っております。

設立当初より掲げるお客様のためという企業理念のもと、直近では県内農家の方々にとっては死活問題となっている「サツマイモ基腐病」に対して会員企業様との共同プロジェクトで蒸気熱処理装置の開発検証を行い、現在産地導入に向け取り組んでおります。

経営環境は依然厳しい情勢ではございますが、今後も皆様方とのご縁を大切にしながら地域のお役に立てればと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

### 東谷山食農研究会代表 安庭 徹



私が代表を務めている鹿児島市の東谷山食農研究会では、直売所さんあい館、おいどん市場谷山店、Aコープ等へ出荷している生産者部会、ふれあい農園や市民農園のメンバー、地元高齢者クラブ、農業教育新興会が会員で、食育・地産地消に関する情報提供と地元農産物の利用促進を図っています。

研究会は5年前に生産者・消費者等15名で結成され、JAと連携した活動に取り組んできました。主な活動は食品総合研究所で農産物の安心・安全研修、農業開発総合センター・都市農業センターでの技術研修、伝統野菜の専門家との学習会、市内直売所の現地調査、会員農場での現地検討会等です。

これからは、地産地消活動の究極の目的である身土不二、医食同源の考え方を取り入れ、工業倶楽部の食の専門家や農村医学会・有機農業協会等とも連携を図りながら、栄養バランスのとれた健康食づくりに取り組みたいと思っています。

### YUKEN代表 下水流 隆



この度入会しましたYUKEN（ユケン）の下水流隆と申します。鹿児島県に37年、建設系コンサルタントに11年在職し、昨年4月第3ステージとして起業しました。業務は技術士（農業）、キャリアコンサルタントの資格を活かしてできることを考えています。

本会に入会したきっかけは、工業倶楽部が主催された「スマート農業セミナー・世界有数の競争力を実現するイスラエル農業を学ぶ」でした。Society5.0の到来で社会の規範が変わるといわれ、第5世代移動通信システムの活用が始まっています。こうしたなか、これまでかかわってきた鹿児島県の畑地農業、とくに畑地かんがいの分野にもDX（デジタルトランスフォーメーション）が導入できないかと考えています。とはいえ、必要となる情報工学の分野には疎く、この会を通じて知見を広げたいと願っています。

皆様にはいろいろとご教示いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

### 上海金天知識産権代理有限公司 日本事務所所長（海外進出支援 コンサルタント ユナイブ代表） 村田 秀博



地場金融機関で23年にわたり、県内企業の海外進出を支援しました。現在は、海外知的財産権・輸出入・外国人雇用支援などトータルで海外進出支援コンサルタントを行なっております。

2大学では県内企業国際化を講義しております。「海外ビジネスは物を見つける前に人を見つける」が信条です。

海外知的財産権の確保は海外進出の第一歩です。上海金天は日本からの依頼が多く、鹿児島とも深く関わりがあります。「森伊蔵」「伊佐美」などの悪意の中国商標問題も解決しました。輸出入支援は、アジア方面への県産品輸出、様々な輸入に対応しております。特に日本ファンの多い中国大連市政府・民間企業とは太いパイプを保持し、「大連を足掛かりとした中国開拓」をコンサル中です。外国人雇用は、高度人材・特定技能・技能実習生に対応し、ベトナムほか鹿児島関係の現地機関と密接に連携中です。

今までの海外ノウハウ・人脈を活かし、鹿児島の国際化促進、海外販路拡大のお手伝いが出来たら幸いです。

鹿児島市電水族館口前に、ユナイブ事務所を構えておりますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

**（公社）鹿児島県工業倶楽部  
では会員を募集しています。**

お問合せ・お申込みは事務局まで  
TEL 099-225-8012 FAX 099-225-8020  
Email info@ikic.or.jp



「責任施工」をモットーに  
安心する金属屋根・壁をお客様にお届けします。

## 南九州金属工業株式会社

本 社 〒890-0021 鹿児島県鹿児島市小野二丁目10番1号  
TEL **099-229-7111** (代) FAX **099-229-6456**  
加工センター 〒899-2431 鹿児島県日置市東市来町美山2105-7  
TEL **099-274-5931** (代) FAX **099-274-5933**  
奄美営業所 〒894-0032 鹿児島県奄美市名瀬鳩浜町26-3-303  
TEL **0997-57-6156** (代) FAX **0997-57-6156**



## 御社の魅力発信 お手伝いします!

- ホームページ・ネットショップ制作 / 保守管理
- IT指導・社員教育 / DX支援 / コンサルティング / 講演 / 環境設定
- 商品パッケージ / パンフレット / ロゴ制作 / 動画制作 ほか



# MINE (マイン) 代表 石岡 美奈子

〒890-0031 鹿児島市武岡5-39-5 TEL **099-282-2876**

☎ **090-5287-2495** FAX **099-822-8882** ✉ [info@wakatta.net](mailto:info@wakatta.net) 🌐 <https://wakatta.net>